

1. 第6次武豊町総合計画 (まちの現状 → まちの課題の整理)

①現状確認

A. 社会潮流の変化

- ① 少子高齢社会から「人口減少社会」へ
：人口減少の時代に、社会制度や経済状況に影響大。
- ② 超高齢社会を乗り越える「生涯現役社会」への転換
：高齢者が健康で自立して活動できる環境の整備が必要。
- ③ 「持続可能な社会」の実現に向けた取組の広がり
：SDGs が国連で採択、目標達成に向けた取組が必要。
- ④ 「第四次産業革命」という新たな段階を迎える産業社会
：IoT、Big・data、AI、ロボット等の技術が社会を変革。
- ⑤ 高速交通網の整備による「スーパー・メガリージョン^{※1}」の構築
：三大都市圏が一体化し世界を先導する大経済圏を形成。
※1：国土交通省の検討会が提唱している巨大経済圏構想のこと。
- ⑥ 「多様性」を認めあう社会づくりの推進
：年齢、性別、国籍等に関係なく人が活躍できる社会に。
- ⑦ 「リスク社会」における安全・安心な暮らしの担保
：災害、環境、産業等様々なリスクへの責任と対応が必要。
- ⑧ 「2020年改革」で大きく変動する教育環境
：国際教育の強化をはじめ教育にかかわる問題が多様化。
- ⑨ 「地方創生」による地方分権の深化
：財政状況の逼迫と行財政改革の進展。
：地方での雇用創生、地方への人口移動等の促進。
- ⑩ 協働を通じた「新しい公共」の創出
：行政だけに頼らない、公共サービスの提供主体の必要性。
- ⑪ 「インフラ老朽化」に対応する行政経営戦略
：インフラの補修修繕、維持管理のコストが増大。

C. 町民意向(アンケート調査・団体ヒアリング結果)

- ① 総じて8割以上が住みやすいと評価
：町民の評価は高い。一方、外(他市町)からは「暮らしにくそう」との評価。
- ② 幸福度は6.8点(前回7.0点)。ほぼ横ばいで推移
- ③ 8割以上が武豊町に愛着があると回答
：学生の8割以上は「武豊町のことが好き」と回答。
- ④ 町の自慢は、「山車・祭りなどの伝統文化」と「良好な居住環境」
：外(他市町)からみると、悪いイメージを持つ人は少ないが、明確なプラスのイメージも持たれない。
- ④ 重点改善分野は、1)安全な道路、2)働きながら子育てしやすい環境、3)公共交通等の移動環境、4)住民に満足される行政サービス、の4項目
- ⑤ 将来の町のイメージの上位は、1)医療・福祉が充実したまち、2)安全・安心のまち、3)便利で快適に暮らせるまち

B. まちの特性

	武豊町の強み	武豊町の弱み
人口	<ul style="list-style-type: none"> ・人口は微増傾向(社会増傾向が続く) ・周辺自治体とは転入超過 ・高齢化率は県平均並み 	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市、東海市、常滑市、首都圏に対し転出超過 ・若い世代の男女比が大きい(女性が少ない)
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・臨海部、内陸工業団地に製造業が集積、事業所では多様な業種が立地 ・企業部門の投資・消費額は流入超過 ・農業、花き、酪農、肉用牛、養鶏の生産額が多く、多様性に富む 	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷額では特定業種への依存度が高い ・個人消費は流出超過(商業機能は弱い) ・昼夜間人口比率はマイナス、就業は町外への依存度が高い(雇用力は低い)
交通・市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・南知多道路、名鉄線・JR線など広域交通の利便性は確保(名古屋の通勤圏) ・土地区画整理事業地区への人口転入 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の幹線道路の未整備区間や町道の中の狭あい道路の割合が高い(「安全に道路を通行」の満足度低い) ・中心市街地の空洞化
居住・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気候は温暖 ・居住環境の評価が高い(8割は住みやすいと評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅都市としてのイメージが弱い(アピール力が弱い)
自然・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・町の南は南知多県立自然公園に指定 ・寺町田湿地植物群落 ・みそ・たまり等の地場産業、みそ蔵の町並み ・山車まつり、浦島太郎伝説のまち(伝統文化は町の自慢) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源としての知名度が低い
行財政	<ul style="list-style-type: none"> ・財政力指数は1.03(2018年度)、1.0付近で推移 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の55%が建築後31年を経過

D. 将来人口予測(2030年人口) ※住基ベースで試算

○2025年ごろをピークに人口は減少と予想される。

人口推計結果	2019年	2020年	2025年	2030年
人口(全体)	43,642	43,709	43,943	43,684
0~14歳人口	6,064	5,969	5,505	5,118
15~64歳人口	26,745	26,796	26,966	26,641
65歳以上人口	10,833	10,943	11,472	11,926
0~14歳人口比率	13.9%	13.7%	12.5%	11.7%
15~64歳人口比率	61.3%	61.3%	61.4%	61.0%
65歳以上人口比率	24.8%	25.0%	26.1%	27.3%

E. 策定部会(中堅職員による会議)でまとめた まちの課題

○22の「めざすべきまちの姿」ごとに、町の主要課題と第6次武豊町総合計画に向けた方向性を検討・整理。

②町の主要課題

1. 住宅都市としての魅力の向上と定住人口の確保

- ・本町の大きな「強み」である“住みやすさ”に着目し、住宅都市としての魅力を高め、新しい住民を受け入れていく積極的な戦略が不可欠。
- ・ハード、ソフトの両面から定住環境整備を強く進める必要がある。
- ・住宅都市(暮らしやすいまち)としてのブランドイメージの確立を目指し、町の魅力を積極的に情報発信していく必要がある。

2. 子育てしやすい環境づくり

- ・安心して子どもを育てることができる町としてのイメージを浸透させていく必要がある。
- ・子育て世帯の働き方に応じたニーズを的確にとらえつつ、多様な子育て支援を展開し、子育てしやすい環境づくりに取り組む必要がある。
- ・家庭だけで子育てすることの不安や負担を軽減するために、地域ぐるみで子育てを支え合う環境づくりを展開していくことも必要である。

3. 産業発展基盤の強化と新たな雇用確保

- ・既存産業の発展基盤の強化、人材確保、事業承継などの諸課題に対処する必要がある。一方、新規企業の参入を促進することも必要。
- ・若い世代の就労・雇用確保や仕事と子育ての両立、女性や高齢者などが多様な働き方のできる環境づくりも求められている。

4. 地域住民の連携と人材育成(地域福祉、地域防災、地域自治のパワーアップ)

- ・人口減少時代を見据えた地域づくりが求められている。
- ・「地域共生社会」の実現に向けた「互助」の仕組みづくりを積極的に展開していく必要がある。あわせて、自主防災活動などの取組をさらに充実していくことが必要である。
- ・地域福祉、地域防災、地域自治などの活動を支える新たな担い手の発掘・育成を進めていくことが必要となっている。

5. 元気でいきいきとした暮らしづくり

- ・人生100年時代を見据え、誰もが安心して元気でいきいきと暮らしていける地域の仕組みが必要であり、生涯を通じた健康づくりを展開していくことが必要である。
- ・生活習慣病予防、介護予防などに取り組み、健康寿命の延伸を目指す。
- ・安心して暮らしていける社会保障制度の維持、ライフスタイルに合わせた様々な支援や環境づくりが求められている。
- ・生涯学習、スポーツ、文化活動、地域活動など様々な場面で、元気に町民が活躍できる環境づくりを進めていくことが求められている。

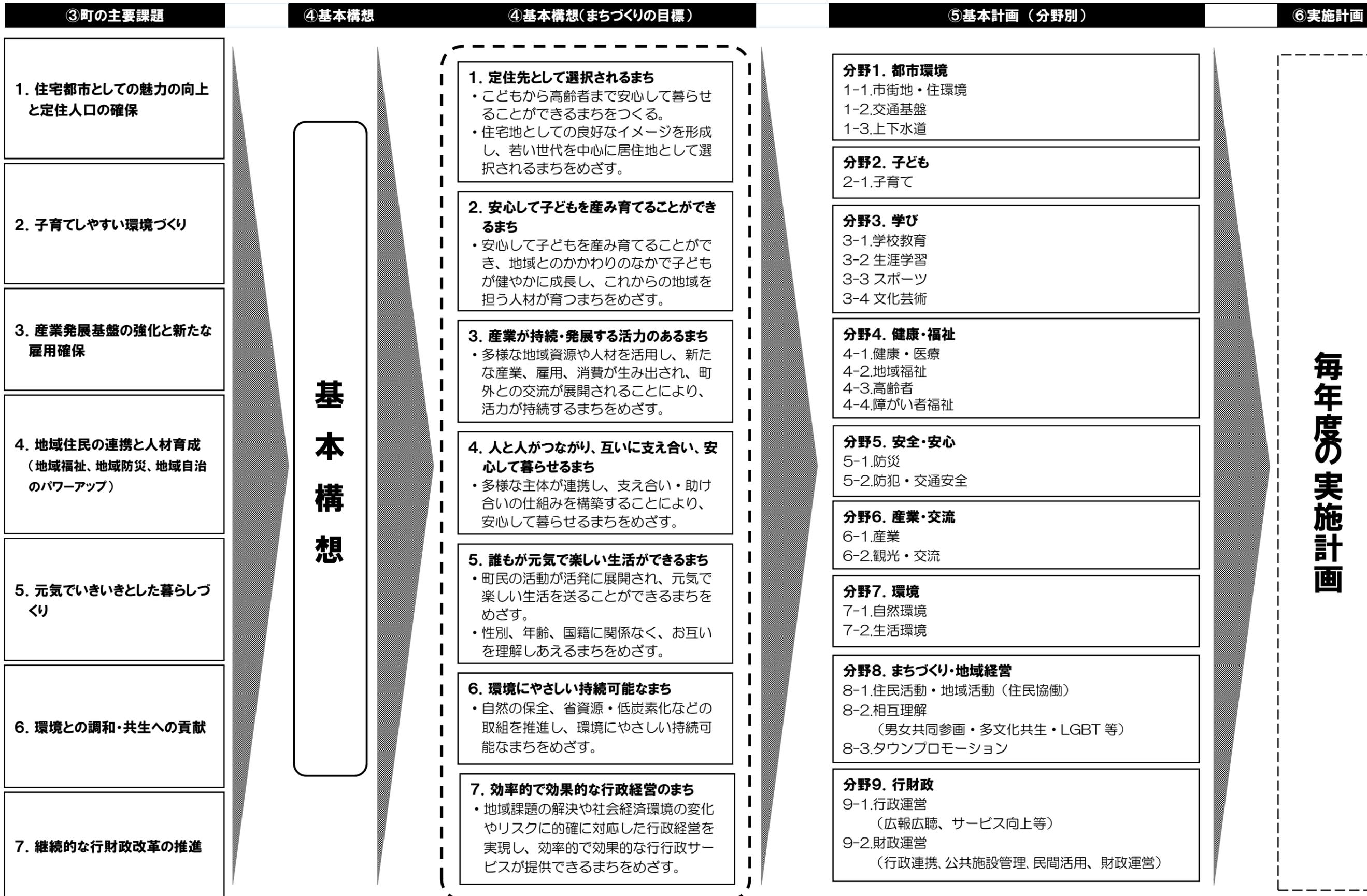
6. 環境との調和・共生への貢献

- ・自然環境の保全とともに、環境との調和・共生に向けた取組を着実に進展させていくことは重要な課題となっている。
- ・緑豊かで美しい自然環境の保全・再生に向けた取組、資源循環、適正な廃棄物処理、省エネルギー対策など環境に負荷をかけないための取組をさらに推進していくことが求められている。

7. 継続的な行財政改革の推進

- ・公共施設の老朽化に伴う施設の維持管理コストの増大は避けて通れない行政課題となっており、長期的な視野の下での対応が必要。
- ・サービス(ソフト)施策についても、合理的で効果的なサービス提供を展開していく必要がある。

2. 第6次武豊町総合計画 (まちの課題 → 基本構想 → 基本計画 → 実施計画)



3. 第6次武豊町総合計画（現行計画第5次計画 と 次期計画第6次計画との対比）

No	施策分野	項	主な業務内容	担当課(主)	関係課	第5次武豊町総合計画『めざすべきまちの姿』との関係
1	分野1 都市環境	1-1 市街地・住環境	市街地整備、住宅・宅地、公園・緑地、 景観	都市計画課		○6-3 快適で豊かな住環境が整っているまち ○3-1 集い・憩える魅力的な場所があるまち ○7-1 中心市街地がにぎやかに活気づいているまち
2		1-2 交通基盤	道路、歩道、公共交通	土木課		○2-1 徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち ○2-2 道路や公共交通を利用して気軽に移動できるまち
3		1-3 上下水道	上水道、下水道、農業集落排水	上下水道課		○6-3 快適で豊かな住環境が整っているまち
4	分野2 子ども	2-1 子育て	地域ぐるみで支える子育て環境 保育サービスの充実	子育て支援課		○4-1 安心して子どもを生み育てることができるまち ○4-2 働きながらでも子育てをしやすい環境が整っているまち
5	分野3 学び	3-1 学校教育	学校教育	学校教育課	学校給食センター	○4-3 子どもが楽しく学校生活を送っているまち
6		3-2 生涯学習	生涯学習、歴史文化	生涯学習課	中央公民館、 歴史民俗資料館、	○3-2 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち
7		3-3 スポーツ	スポーツ	スポーツ課		○3-2 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち
8		3-4 文化芸術	文化芸術	町民会館		○3-2 誰もが気軽に学習や趣味の活動に参加できるまち
9	分野4 健康・福祉	4-1 健康・医療	健康づくり、地域医療、	健康課	保険医療課	○5-1 楽しく健康づくりができ、安心して医療が受けられるまち
10		4-2 地域福祉	地域福祉、生活支援（低所得者等）	福祉課		○5-3 みんながお互いを理解しやすい心を持っているまち
11		4-3 高齢者	高齢者福祉	福祉課		○5-2 高齢者や障がい者がいきいきと暮らしているまち
12		4-4 障がい者福祉	障害者（児）福祉	福祉課		○5-2 高齢者や障がい者がいきいきと暮らしているまち
13	分野5 安全・安心	5-1 防災	防災	防災交通課		○2-3 災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち
14		5-2 防犯・交通安全	防犯、交通安全	防災交通課		○2-3 災害への備えや日常生活の安全性が確保されているまち ○2-1 徒歩や自転車で安全に道路を通行できるまち
15	分野6 産業・交流	6-1 産業	農業、商工業、雇用対策	産業課		○7-2 産業が活性化しているまち
16		6-2 観光・交流	観光、にぎわいづくり	産業課		○7-1 中心市街地がにぎやかに活気づいているまち
17	分野7 環境	7-1 自然環境	自然環境	環境課		○6-1 みんなが自然環境を大切にしているまち
18		7-2 生活環境	ごみ処理、環境美化	環境課		○6-2 環境へ負荷をかけない生活環境になっているまち
19	分野8 まちづくり・ 地域経営	8-1 住民活動・地域活動 （住民協働）	協働のまちづくり、自治区活動	企画政策課	総務課	○1-1 住民がまちづくりに参加しやすいまち ○3-3 地域活動が活発に行われているまち
20		8-2 相互理解	男女共同参画、多文化共生、LGBT	企画政策課		○5-3 みんながお互いを理解しやすい心を持っているまち
21		8-3 タウンプロモーション	タウンプロモーション、タウンプライド	企画政策課		○7-3 住民が誇りをもって生活しているまち
22	分野9 行財政	9-1 行政運営	広報広聴、行政サービス、 効率的な行政運営、ICT 活用	秘書広報課	企画政策課	○1-2 情報が相互に発信されているまち ○1-3 住民に満足される行政サービスが行われているまち
23		9-2 財政運営	行政連携、公共施設管理、民間活用、 効率的な財政運営	総務課	企画政策課	○1-4 健全に行財政が運営されているまち